

〈耐震診断結果をお知らせします〉

芦屋町では、耐震改修促進法に基づいて昭和56年以前に建設された不特定多数の人が利用する一定規模以上の建築物について、平成19・20年度の2ヵ年で耐震診断を実施しました。

□診断結果

耐震診断を実施した建築物とその結果は、表のとおりです。耐震の指標となる CtuSD 値が 0.3 未満のもの、Is 値が小中学校施設では 0.7、その他の施設では 0.6 未満のものが補強工事が必要になります。

診断結果では、小中学校全ての屋内運動場、芦屋小学校と芦屋中学校の校舎、中央公民館や浜崎団地が耐震基準を満たしていないことが判明しました。

なお、芦屋中央公民館については、2 次診断を実施したところ、耐震性能基準を満たしていることが 21 年 3 月に判明しました。

□耐震の指標

CtuSD 値 建物の形状などを考慮して耐震性能を表した数値で、0.3 以上が目標値です。

Is 値 地震の振動や揺れに対して倒壊や崩落する危険性を表す数値で、0.6 以上あれば、震度 6 強程度の地震に対しても建物が倒壊や崩壊する危険性は低いと考えられています。学校については、0.7 以上が目標値です。

X 方向 建物の横方向のゆれに対する強度を示します。

Y 方向 建物の縦方向のゆれに対する強度を示します。

□耐震補強を計画的に進めていきます

今回の診断結果を踏まえ、財源や建築物の耐用年数などを検討した結果、浜崎団地については解体撤去、耐震基準を満たしていない施設については計画的に耐震補強工事を実施していきます。

工事予定年度	改修施設名
21～22	芦屋中学校校舎・体育館、武道館、小体育館、中央公民館
22～23	芦屋小学校校舎・体育館
23～24	山鹿小学校体育館・芦屋東小学校体育館

□問合せ

企画政策課企画係